

ネパールの病院も困っています！

## ネパール新型コロナウイルス感染対策支援金

募金よろしくお願ひします

会員のみなさま、いつもあたたかいご支援をありがとうございます。この会報 125 号の編集が終わった 4 月末、ネパールのロックダウン寸前に帰国した檜戸ネパール駐在員のもとにネパールの病院の窮状を訴えるメールがきました。早速理事会を開催し、予算案にあるコロナ対策費 50 万円をネパールに送金しました。そして、更なる支援のため、みなさまにご寄付をお願いすることとなりました。国内でも多くの困難の中でみなさまも大変とは思いますが、社会インフラの脆弱なネパールでは大変厳しい状況になっています。このための振込用紙を同封させていただきました。ご支援の程何卒よろしくお願ひします。

代表理事 大泉 樹

新型コロナウイルス感染拡大に伴いネパールは 3 月 22 日よりロックダウン（国境の封鎖、人の移動と経済活動の制限；日本よりかなり厳格）を行っています。その効果もあり患者数は多くはありませんが、経済的ダメージはとても大きいです。

ネパール西部のチョウジャリ病院は、2011 年よりみなさまにご支援いただき、地方の基幹病院として活動していますが、ロックダウン以降、病院物資や薬品の不足、患者数の低下（1 日約 300 人が 100 人以下）のための収入減、この地方のコロナ患者受け入れ病院に指定されたための準備費用がかさんで、今後、薬品、酸素、医療器材、防護服等購入の資金が足りず、100 人近い職員の給与の支払いも難しい状況だということです。3 ヶ月のロックダウンで約 1300 万円の追加資金が必要との試算をもらいました。チョウジャリ病院を運営する HDCS という NGO のカピル代表とも連絡していますが、HDCS の運営する他の 2 病院も同様の状況とのこと。チョウジャリ病院並びに他の 2 病院の運営支援のため、みなさまのあたたかいご寄付をどうかよろしくお願ひ致します。

2020 年 5 月 3 日

どさんこ海外保健協力会ネパール駐在員 檜戸 健次郎

**支援金振込先**

**郵便振替 口座番号 02740-9-11929**

**皆様のご支援お待ちしております。**